

京都府立大江高等学校（京都府版小中高連携 CAN-DO リストを踏まえて）

学年		Grade	聞くこと （ Listening ）	読むこと （ Reading ）	話すこと（ Speaking ）		書くこと （ Writing ）
					やり取り	発表	
第2学年次	第3学年次	G6	ナチュラルスピードに近い英語で話される英文の必要な情報を聞き取り、話し手の意図や話の展開を把握できる。（例 教科書の音声教材、スピーチ、アナウンス、道案内、図や表についての説明）	読んだ内容について、必要な情報を読み取り、概要や要点を把握し、論点や根拠を明確にできる。	与えられた話題について自分の意見を即興で述べることができる。また、伝えた内容について質疑応答を、やりとりを発展させることができる。	与えられた話題について、写真など活用しながら自分の考えを詳しく説明したり伝えたりすることができる。また、発表した内容についての質問に答えることができる。	ディスコースマーカーなどを適宜使用しながら、与えられた話題について、根拠や理由及び具体例を示しながら、複数の段落で自分の考えを書くことができる。
		G5	ゆっくりはっきり話される英文から必要な情報を聞き取り、話し手の意図や話の展開を把握できる。（例 教科書の音声教材、スピーチ、アナウンス、道案内、図や表についての説明）	読んだ内容について、各段落の要点を把握し、書き手の主張や意図を読み取ることができる。	与えられた話題について自分の意見を即興で述べ、やりとりを継続することができる。	与えられた話題について、理由や根拠とともに自分の考えを発表できる。	接続詞（and, but, because など）を適宜使用しながら、与えられた話題について、根拠や理由及び具体例を示しながら、複数の段落で自分の考えを書くことができる。
	第1学年次	G4	ゆっくりはっきり話されれば、まとまった英文（教科書の音声教材など）の概要を理解できる。また、自分の興味のある話題についての Wh-question や Yes / No question を理解できる。	読んだ内容について、各段落の要点を、単語などから推測しながら把握できる。	自分の興味のある話題についての Wh-question や Yes / No question に返答したり、質問したりすることができる。	自分の興味のある話題について、具体例を示し、かつ聞き手を意識しながら自分の考えを発表できる。	接続詞（and, but, because など）を適宜使用しながら、自分の興味のあることについて1段落で書くことができる。
		G3	ゆっくりはっきり話される文の内容を正確に理解することができる。自分に関することについての Wh-question や Yes / No question を理解できる。	《主語＋動詞》や句・節を意識しながら、文の意味を正確に把握することができる。	自分に関することについての Wh-question や Yes / No question に返答したり、質問したりすることができる。	自分に関することについて、聞き手を意識しながら発表できる。	文型を意識して、文を正確に書くことができる。また、接続詞（and, but, because など）を使用して文をつなげることができる。
	第1学年次	G2	ゆっくりはっきり話される文の内容を、聞こえた単語から推測し把握することができる。	文の意味を、単語から推測し把握することができる。	自分のことについて相手に伝えることができる。	与えられたテーマについて、定型の英文を参考にして、自分の考えを含めながら発表できる。	文型を意識して、文を書くことができる。
		G1	身近な単語や挨拶を聞いて、その意味を理解できる。（例 dog / eat / Good morning）	身近な単語を理解できる。（例 dog / eat / happy）	日常的な簡単な挨拶ができる。（例 Good morning. ）	自ら選んだ英文を、アクセントや発音、イントネーションに注意しながら人前で発表できる。	身近な単語を正しい綴りで書くことができる。（例 dog / eat ）